

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1)理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<p>・理念や基本方針は保護者への説明の際に文書を渡して説明するとともに、保育アプリ「コードモン」資料室を活用して周知を図りました。次年度は、園だよりやクラスだよりを通して、教育保育方針「三つのゼン」に基づきどのような教育保育を行っているか伝えていきたいと思ひます。</p> <p>・3か月毎に「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を活用し、日頃の子どもの関わりを振り返り話し合いをしました。今後も一人一人の子どもの人権を大切に、子どもの人格を尊重した教育保育を心がけていきます。</p>
	(2)理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3)理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4)一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1)社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<p>・今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、保育参観に加え親子で遊ぶ、懇談会も計画し、保護者参加型の行事を開催することが出来ました。行事後の保護者からの意見を基に、子ども主体の行事や遊びに繋がるよう次年度の行事に活かしていきたいと思ひます。また、行事を通して保護者と子どもの成長を共感し合い、保護者・子ども・保育者が三位一体となった教育保育が展開できるよう努めていきます。</p>
	(2)指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3)子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1)子ども一人一人の健康状態や保育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			<p>・給食職員が中心となり、から弁当の日を設けて園庭や保育室でお弁当を食べたり、行事メニューの盛り付けを工夫したりして楽しく食事ができるようにしました。また、食材に触れたり、クッキング等を企画したりして、子ども達が食に興味を持てるよう様々な食育に取り組みました。</p> <p>・廊下とプレイルームを開放して十分に遊べるよう環境を工夫をしたり、1.2歳児クラスのバス園外保育を取り入れたりして子ども達が様々な経験ができるよう取り組んできましたが、子どもが主体的に活動できる環境としては検討が必要です。保育者が発達段階を理解していないと子どもの発達にとって必要な体験や経験をさせてあげることが出来ないため、日頃から課題意識を持ち職員間で子どもの姿を話し合い情報共有しながら保育の質の向上に努めます。</p> <p>・今年度より0歳児クラスは担当制を取り入れ、子どもの思いに寄り添って子ども理解に努め、一人一人の子どもの愛着関係を築いてきました。受容的・応答的な関わりの中で、温かく見守りながらさりげなく支えるような配慮を心がけ、子どもの安心の基地となるよう日々の教育保育を行っています。</p>
	(2)子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3)子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4)子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	○				
	(5)子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか			○		
	(6)子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7)健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8)子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<p>・毎月クラスで振り返りの時間を設けて子どもの姿から翌月のねらいや環境について考えています。職員間でのコミュニケーションを大切にしながら子ども親や保育親を共有し、子ども一人一人の生活が豊かになるように計画性を持ってこれからも一人一人の発達や個人差に応じた丁寧な保育を心がけていきたいです。</p>
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12)園児の発達や学びの連続性を見通した計画に基づいて、園児一人一人の発達の過程に応じ、一貫した教育保育を展開しているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・6月、12月に懇談会の機会を設け、保護者とのコミュニケーションを図ると共に保護者同士の情報交換の場を設けました。また、連絡帳でのやりとりや送迎時の対応、クラスだより、動画配信を通して日頃の子どもの様子を伝えました。 ・小松市役所と連携を持ち、情報の共有・提供を行っています。 ・週2回(火曜・金曜)、子育て支援室『あっぷっぷ』を開催し利用者からの相談にも丁寧に対応し、信頼されています。また、2か月に1回、離乳食試食会を設け、園の給食職員が説明し、連携を図っています。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	○				
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			<p>・今年度は感染症予防の対策として、登園時に一人一人の子どもの手洗いを徹底しました。感染症の発生はほぼ見られなかったため、今後も手洗いを継続して感染症予防に努めていきます。</p> <p>・BCPを策定し、毎月、様々な事を想定した避難訓練を実施しています。今年度は、震度5弱の地震発生と想定し降園時に順次引き渡し訓練を行いました。また、能登半島地震も経験し、保育中に震度5強の地震が起こった場合子どもの安全確保のためにどのような行動をすべきか再確認をしました。今後も、各職員が声を掛け合って臨機応変に行動できるよう、防災体制を徹底していきます。</p> <p>・外部講師を招いて勉強会を行い、自らの保育を振り返りました。乳幼児が落ち着く音環境として、子どもの思いを重ねてあげる声掛けが安心感につながることを学びました。今後も互いに意見交換をし、自己の課題を明確にしながらか教育保育の専門性の向上に努めていきます。</p> <p>・送迎時や連絡帳でのやりとりを通して保護者からの子育てに関する相談に対応していますが、園の教育保育の取り組みに関しての意見、要望はありませんでした。次年度は、相談日を設ける等の検討を行って意見を述べやすい環境作りに取り組んでいきます。</p> <p>・年3回の自己評価を行い、振り返り、課題、今後の方向性を職員間で話し合い、教育保育の改善に努めています。保育者一人一人が役割と責任を自覚し、教育保育の内容について共通理解を持つよう努めながら、協働性を高めていきたいです。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか		○			
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか			○		
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか			○		

やぎき乳児保育園の評価結果に対する意見・コメント

- ① 献立表がホームページに載り、献立、おやつ、離乳食は、とても参考になると
思いました。
- ② 給食レシピは、タイトルがあり、わかりやすいです。出来あがりの写真があると更に
わかりやすいので、載せてほしいです。
- ③ ほのほの日記は、タイトルもあり、内容が想像つき関心がもてます。また、座る、持つ、
しゃぶ、立つ、つかぶ、ハイハイ、登るなど、体の動きや表情がみられてとてもいいと思いました。
- ④ 乳児の指導計画の教育がわかりやすくまとめられており、具体的に姿と発達を促す
文柄がしやすいと思います。指導計画の子どもの姿から一人一人の発達を伺えることが
できると思います。
- ⑤ 手洗いは絵が掲示されており、視覚から真似られると思うので、いくつかの
手の形を真似するとか行なえるようにしてもよいと思いました。
- ⑥ 保育中の地震の対応は、よく話しあわれていて、具体的な行動が共有
できていると感じました。

令和 6 年 3 月 14 日

役職等 監事

氏名 堅田 光恵



やざき乳児保育園の評価結果に対する意見・コメント

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、保護者が参加する行事も開催できるようになり、様々な方法で保護者とのコミュニケーションを図ろうと工夫されていると感じました。ただ、集団の場では思うように意見を言えない保護者の方もいますので、今後、個別の面談の場を設けようという取り組みは前向きに検討を進めていただければと思います。

また、今年度から取り入れられた登園時の子どもの手洗いの徹底が感染症の発生予防に効果があったということはとても良かったと思います。ぜひ継続して感染症予防に努めてください。

能登半島地震を受け、災害時における対応について再確認もされており、防災体制は整えられていると思います。ただ、お預かりしている子どもたちの年齢を考慮すると想定している状況が十分であるかの検討は繰り返し行うことが必要だと思います。また、何よりも職員一人一人が臨機応変に行動できる力を身につけていくための訓練を行うことを心掛けてほしいと思います。

令和 6年 3月18日

役職等 監 事

氏 名 森 和 美



やざき乳児保育園の評価結果に対する意見・コメント

アンケート結果では、保護者の方がほぼ満足していると感じられました。

園行事については、未満児だけの保育園という事でなかなかむずかしいと思います
が、今後も保護者参加型の行事、子ども主体の行事等、保護者の声や行事の振り返り
等大切にしながらすすめていって下さい。

発達援助の部分では各年齢の成長発達を見極めながら、主体的に活動できるよう環
境構成を考えたり、豊かな経験ができるといいですね。又、日々の保育の振り返りや
課題意識を持つことで保育の質向上につながると思います。

外部からの講師を招いての勉強会、大変いいことだと思います。大変だとは思いま
すが、今後も続け職員で学び合い教育・保育の専門性の向上に努めてください。

令和 6 年 3 月 17 日

役職等 監 事

氏名 嘉藤 恵子

